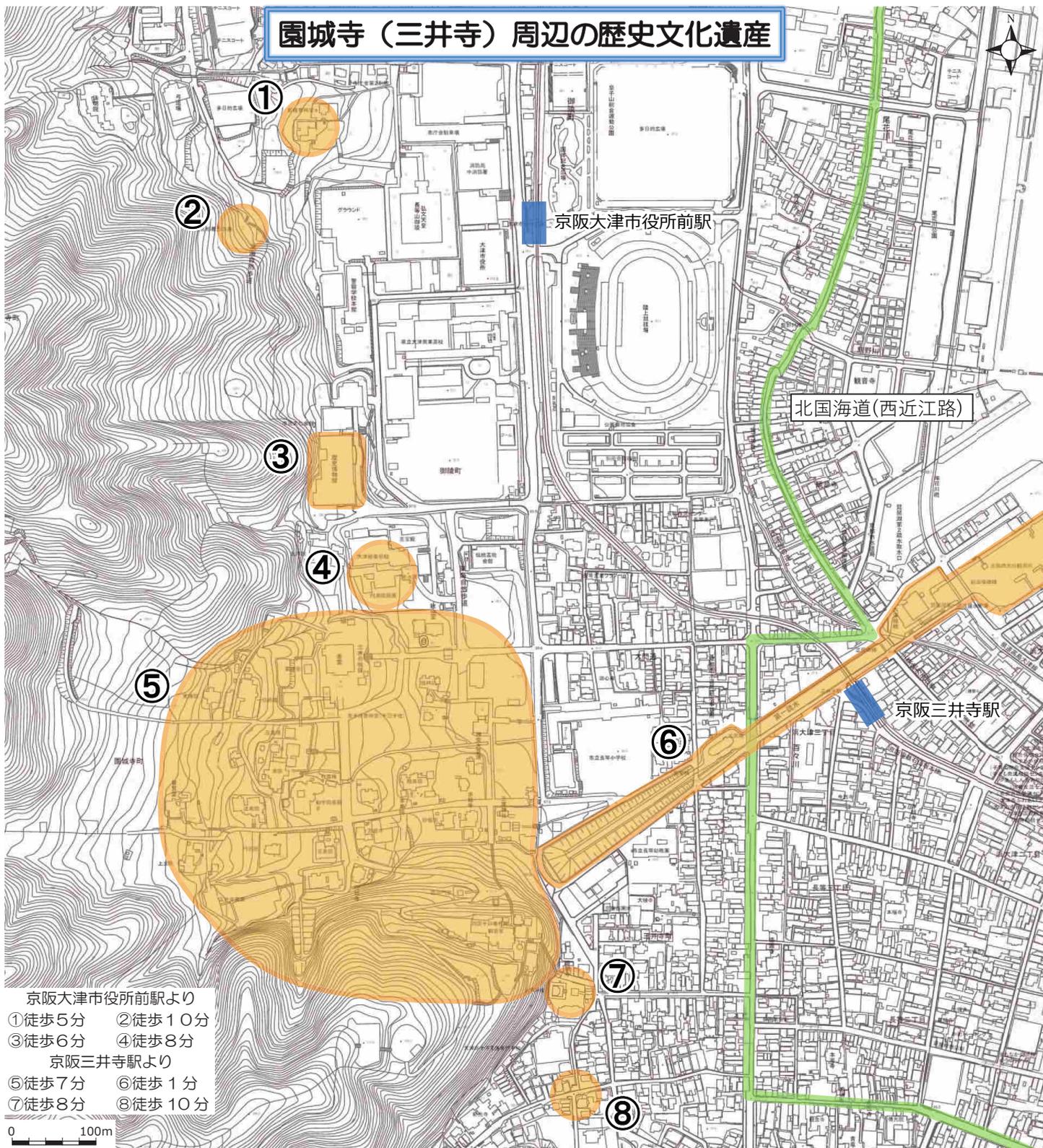


園城寺（三井寺）周辺の歴史文化遺産



京阪大津市役所前駅より
 ①徒歩5分 ②徒歩10分
 ③徒歩6分 ④徒歩8分
 京阪三井寺駅より
 ⑤徒歩7分 ⑥徒歩1分
 ⑦徒歩8分 ⑧徒歩10分

① 新羅善神堂 (国宝)
 新羅明神は、円珍が入唐の帰途に船中で教法の守護を約したとされる神である。この神を祀る新羅善神堂は、貞和3年(1347)、足利尊氏によって再建された。

② 新羅三郎義光の墓
 新羅三郎は、源頼義の子である源義光のこと。新羅善神堂の神前において元服したことにちなみ、新羅三郎と呼ばれる。

③ 大津市歴史博物館
 豊かな特色を持った大津の歴史と文化を紹介する。企画展やミニ企画展、れきはく講座などを開催。
 【9時～17時 月曜休館 有料 ☎077-527-2100】

④ 圓滿院
 圓滿院は元園城寺三門跡のひとつ。正保4年(1647)に御所の御殿を移築した宸殿は国重文、庭園は国名勝・史跡に指定されている。拝観有料。

⑤ 園城寺 (三井寺)
 長等山全体を寺域とし、秘仏弥勒菩薩を本尊とする国宝の金堂を中心に、多くの堂舎が建立される。境内南には西国三十三所観音巡礼第14番札所観音堂がある。拝観有料。

⑥ 琵琶湖疏水 (国史跡)
 明治18年(1885)に着工し、同23年に完成。三保ヶ崎から京都の蹴上までの約9kmに水路を掘削したもので、途中には3本の隧道が通る。

⑦ 長等神社
 貞観2年(860)円珍により日吉山王神を園城寺の護法神として勧請したと伝わる。明治38年(1905)建立の楼門は市指定文化財。

⑧ 小関越の道標 (市指定文化財)
 北国海道と京都を結ぶ小関越。この道標は、江戸時代中頃に園城寺(三井寺)へ向かう道の分岐点に建立された。